

# とんとんとん!



平根小学校 2学年 学級通信 3月1日 No27

## 〇スーホの白い馬の学習のまとめ〇

国語「スーホの白い馬」の学習をしています。単元のまとめをする中で A さんが作った詩の変化が印象的でしたので紹介します。

A さんは最初「白馬ばかばかばか どうしてそんなにはしれるの」という詩をつくりました。そこで A さんにその理由はなんだろうと尋ねてみると「う～ん。」と悩む様子の A さん。その後 A さんは、ノートを見返してスーホや白馬の心情について学習したことを振り返ったり、教科書の「兄弟のように」「だいすきなスーホ」などの叙述を見つけたりしていました。A さんなりの考えができたようで、最初に比べパワーアップした詩を見せてくれました。

「白馬ばかばかばか どうしてそんなにはしれるの 白馬はスーホがすきだから 力をふりしぼって しんじょうまえに スーホの顔を見に行った。」という詩が完成しました。その後も友だちの作品を見て、その良さを積極的に伝える A さんの姿がありました。

## 〇とび箱をとべるって、こんなにいいきもちなんだね〇

「とび箱をとべるってこんなにいいきもちなんだなって思いました。」と B さんが授業の振り返りで発表しました。体育「とびばこランド」を行っています。単元最初では、跳び箱が気持ちの面や、技能面で苦手な子が多かったのですが、単元後半にはほとんどの子が跳べるようになってきました。表情やその取り組む姿勢から B さんが言った「いい気持ち」の中には跳ぶ喜びや達成感、自信などの気持ちがあると感じました。他にも素敵な子の姿があったので紹介します。

跳び箱ランド（跳び箱に必要な動きを分解し、大切なポイントに絞って遊びながら練習できる障害物のサーキット）を班でまわっています。同じ班の C さんが、何度も跳び箱に挑戦していましたが、遠くに着手ができず跳び箱におしりがついてしまいます。「強くふみきりをしてみたら？」と同じ班の D さんがアドバイスしています。C さんが挑戦する度に「今度は手だね！もっとおくだよ！」「あー、おいしい！」「もう一回やってみよ！」「手にぐっと力をいれてね。こうだよ、いい？」と D さんは学んだコツをいかしたアドバイスや応援を送ります。単元最初には苦手だと言っていた C さんが、失敗しても走って戻って再度挑戦し、アドバイスを求めているのです。そういった練習を繰り返し、ついに C さんは跳び箱を跳べるようになりました。さらに、C さんは、「次は、たて（向き）もやってみたい！」と D さんにアドバイスをもらいながらどんどん挑戦していきました。

（写真は縦向き跳び箱をどうしたら跳べるか考え伝えている様子です。）

